



*ooyaishi*

NPO法人 大谷石研究会

大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

## '09 語りの小祭り IN 大谷

大谷石の奇石群に囲まれた幻想的な大谷で、日本の民話が語られます。「むか〜し、むかし…」に耳を傾けてみませんか。

今年の11月14日、大谷で表題の語りに関する祭りが開催される。これは日本語りの会と大谷石研究会が主体となった「語りの小祭り IN 大谷実行委員会」とが主催するもので、民話語りや紙芝居を行なうものである。

歴史の街大谷には、「大谷寺の由来」など多くの伝説が伝えられ、その上、奇岩が林立し、大谷石の民家が立ち並ぶ風情ある大谷は、民話を語る場所として格好な場所である。

会場と内容は、屏風岩の渡辺久子邸が「文学を語る」、茅葺き屋根の渡辺恵美子邸が「子供と親しむ」と題して紙芝居、大久保喜市邸が「日本の昔話」である。それぞれの会場は、大谷を象徴あるいは代表する建物である。今回総勢300人近くの語りべや一般市民が集うが、

語りに満足するばかりでなく、大谷の景観の素晴らしさを満喫し味わっていただければとも思う。大谷石研究会では、小野口理事長を中心に準備を進めているところである。当日は、多くの会員の方の参加を願ってやまない。

(NPO法人 大谷石研究会 理事  
小祭り担当実行委員 柏村裕司)



「屏風岩」で親しまれている渡辺久子邸では「文学を語る」と題して母屋で



事務所に使われていた大谷石の建物。その奥にある大久保喜市邸の広い土間で「日本の昔話」が語られます



石屋根の門と大きな茅葺き屋根が印象的な渡辺恵美子邸では「子供と親しむ」と題した紙芝居を

## 大谷石昔ばなし…5

### 日本民藝館の長屋門

日本民藝館の西館の長屋門については、この欄ですでに紹介したことがあるが、もう少し詳しく紹介しよう。この石屋根は、もともと旧国本村大字宝木野沢の中山歌三郎氏所有のものであった。常々「家を建てるなら、その石屋根をういたいと云う夢さえ抱いた」という柳宗悦は、日光への道すがら日

光街道沿いに建つ長屋門を目にし、しかも売りに出ていることを知った。そこで民藝運動の同志の濱田庄司や塚田泰三郎の斡旋で購入することができ、東京の駒場に移築したのが昭和9年である。この長屋門は、明治13年建築のもので間口10間、奥行2間半、元は小窓であったものを大きくし、霧よけを同じ大谷石で葺いた。石屋根研究家の塚田泰三郎は「仕事甚だよく代表的な形である」と評している。

**神谷五男+(株) 都市環境建築設計所**  
Itsuo Kamiya & Associates

〒320-0821 宇都宮市一条1-2-16  
TEL 028-634-2134 FAX 028-637-0694  
Email ikaa@bz01.plala.or.jp

大谷石採掘・販売・施工  
墓石・外柵・設計施工  
各種石材販売・施工

有限会社 北戸室石下石材店

〒321-0345  
栃木県宇都宮市大谷町1466  
Tel 028-652-0506 Fax 028-652-4888